

「第6回 議会報告会・市民との意見交換会」での、市民からのご意見への行政の回答

|  |   |
|--|---|
| <p>Q. 【名鉄入札情報公開いまだ成されず】<br/>         協定書11条に定められているにも関わらずなぜ実行されないのか、市民としてはわかりにくい。さらに、要望書を出すのに3者（市、県、名鉄）の調整が必要とのことですが、何を調整するのか。もっとわかりにくい。</p> |   |
| 1  | <p style="text-align: center;">回答所管課<br/>都市開発課</p> <p>透明性の確保は全国的な「申し合せ」に基づき対応がされております。従いまして、名鉄1社で対応出来る案件ではなく、全国的な課題であります。今後は県と足並みを揃え、国並びに国を通じて鉄道事業者に対し、益々の透明性の確保を要望してまいりたいと考えます。</p> <p>また現在、市長から名鉄への要望書提出については見合わせています。これは、これまでの3者（市・県・名鉄）の協議により、名鉄も透明性確保についてはこれまでより建設的に考えてくれるようになり前進しつつあることと、昨年末、市議会から決議書を名鉄に提出し、名鉄も知立市の意向を十分承知されている状態であることより、更に市長からの要望書を提出し要求することは事業推進を図る上で、今は得策では無いと判断しているからです。</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>Q. 【名鉄入札情報の公開について】<br/>         名鉄への情報公開の件はだいぶ前から議会でも問題視されていながら、ラチが開かないようです。<br/>         ①もし協定書の11条が県と名鉄2者の協定だから知立が無視されるのであれば、金を出さず知立も仲間に（協定の）入るべき。<br/>         ②もし協定中の文言「努める」を盾に努めているが、公開しないと言うのであれば「努める」を削除して「透明性を確保する」と改訂してほしい。</p> |   |
| 2   | <p style="text-align: center;">回答所管課<br/>都市開発課</p> <p>連立事業の施行者となれる者は、都道府県及び県庁所在都市又はそれに準ずる人口20万人以上の都市と定められており、知立連立の愛知県・名鉄・知立市の立場は、①愛知県—施行者、②名鉄—工事の委託を受ける鉄道管理者、③知立市—受益を受けるため事業費の一部を負担する地元市 という構図となっています。</p> <p>協定は施行者と工事委託者との間で締結するものです。協定締結者ではないため、直ちに条文の変更は出来ません。</p> <p>知立市としても、国をはじめ愛知県及び名鉄に対して一層の事業の透明化を図れるように、今後も働きかけていきたいと考えています。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>Q. 【元気な町作り】<br/>         &lt;福祉くらし子育ての地域の整備&gt;<br/>         知立市には1年中利用出来る癒しの場所がない。無量寿寺の周辺を十年計画で整備して、健康のためウォーキング道路、子供の交流の場所、老人が楽しむ道具の整備、また市外からの来訪者が楽しむ為にも必要である。刈谷、安城、碧南には多くの癒しの場所がある。</p> |  |
| 3  | <p>回答所管課<br/>         経済課</p> <p>八橋地区には、歴史的資産が多くあり、また点在しています。しかし、そのアクセス道路である鎌倉街道がとても狭く、また案内が十分されていないのが現状です。よって、<br/>         ①歩行者の安全性を資するため、また移動しやすい交通環境の充実を図るための、カラー舗装による道路修景整備。<br/>         ②観光資源を安全にわかりやすく誘導するための歴史案内散策マップの作成。<br/>         を計画しています。</p>  |
|  | <p>回答所管課<br/>         都市計画課</p> <p>市では、池鯉鮒散歩みち協議会と協働して「池鯉鮒の歴史と自然の散歩みち」を指定し、主に川沿いの散歩みちについて、歩きやすい環境整備を図っています。<br/>         また、文化会館パティオ池鯉鮒のエントランスロードでは野外彫刻プロムナード展を開催し、毎年6体の野外彫刻を展示しているほか、図書館・歴史民俗資料館周辺の公園や遊歩道でも野外彫刻を常設しており、市民の癒しの場所となっています。<br/>         その他、市内公園では子ども向け遊具や老人も楽しめる健康遊具の設置を行っています（上重原公園等）。</p> |

|  |  |
|--|--|
| <p>Q. 【各事業についての目的と答弁対応について】<br/>         例として<br/>         ①企画文教委員会の中で、家具転倒防止事業はどのような背景があったのか。目的が何か不明（個人なら全員を対象にすべき）。<br/>         ②答弁において、いずれも具体性に欠ける。どれが、どの様に、いつまでに実施するという工程計画が出されて、可決となるというような対応が出来ていないのはなぜか。</p> |  |
| 4  | <p>回答所管課<br/>         安心安全課</p> <p>①家具転倒防止事業は、減災対策の一つとして平成25年度から新規で知立市が行う事業です。南海トラフに係る大地震の被害を、少しでも減らしたために行うものです。<br/>         防災事業は個人の責任で行う「自助」対策、地域の連携でお互いを助け合う「共助」、国や県、市町村などが行う「公助」の大きく三つに分けて対策を考えています。その中で、自助支援する事業として、希望者に寝室等にある家具転倒防止のため、L型金具等を配布してご自分で取付けていただくとするものです。<br/>         これにより、大きな揺れによる家具の転倒から身を守り、避難する時間を稼ぐことが可能と考えています。金具配布は7月1日より始め、希望者全員に最大4組分（L型金具のみ）はお渡しする方針です。<br/>         また従来から福祉部門で、高齢者や障がい者家庭に家具転倒防止対策として金具の配布と取付を行っていたサービスについては継続し、窓口を一つにするため安心安全課防災係で受付いたします。</p> <p>②家具転倒防止推進事業は、現在、実施要綱を策定し審査中、6月中を周知期間とし、7月1日から申し込み、配布を開始いたします。事業は概ね3年間を想定しています。<br/>         防災行政ラジオ整備事業について、上記と同じく現在、実施要綱を審査中、機種については選定中です。市民側の負担金は2～3,000円になる見込みで、募集開始を8月中に行い、製造期間が概ね3～4ヶ月かかりますので、お手元に納品できるのは12月頃の予定です。またこの事業は3ヶ年の予定です。</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>Q. 【各事業における長期的計画について】<br/>道路補修や知立駅周辺整備において、計画があり、それにより予算を付け、実施されるはず。まずは、その計画があるのか、無いのか。（市役所内各部署にて長期で計画出来るようにして、市民に示し、計画と実績を出せるようなら相談・回答し、市議会を通す必要がないと思う）</p> |   |
| <p>5</p> <p>回答所管課<br/>都市開発課</p>   | <p>知立駅周辺については現在、連立事業・区画整理事業・再開発事業・街路事業の各事業がそれぞれ事業を計画し実施しています。<br/>これらの事業は長期的なものであり、かつ事業費も大きいため、単年度の予算査定だけでなく、関係部署による財政会議を毎年開催し、事業実施での問題点の洗い出しや知立市が正常な財政運営が出来るよう協議して進めています。</p> <p>また、これらの事業の紹介・成果の報告等は広報に折り込んだ“まちづくりだより”や“ホームページ”等で行っていますが、内容・回数をもっと充実させ、わかりやすくなるように研究し努力していきたいと考えます。</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>Q. 【知立高架事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立の身の丈を考えると南側に改札口とロータリー、バリアフリー化して南北に人の行き来が出来る、後は商店勝手にやってください、なら知立の活性化の為税金使ってよい。</li> <li>・今更中止にできないから名古屋リニア構想と周辺駅開発があるのだから、マンション等を建てベットタウン化し人口を増やし、バザール知立のような取り組みを行う。</li> <li>・市民は賛成してるのか。既得権益者だけではないのか。ならファンドでやってほしい。</li> <li>・アベノミクスでお金が借りやすいから、今がチャンス。</li> <li>・特に悪い面が議論されていない。</li> <li>・まだ他にもいろいろ言っている。</li> <li>・駅前に幼児の一時預かりを造り、バス等で保育園・幼稚園に送る、帰りも同じ。子育て支援と、市の人口増加が見込める。</li> </ul> |   |
| <p>6</p> <p>回答所管課<br/>都市開発課</p>   | <p>現在、知立駅の東側の市道中央通りには名鉄本線及び三河線の2つの踏切が連続し開かずの踏切となり、通行車両のみならず歩行者の方達にもご不便をかけています。<br/>南口が開設されれば歩行者の方達にとっての利便性は向上しますが、“慢性的な交通渋滞”“踏切事故による危険性”“分断された市街地の発展の支障”などの根本的な問題は解決されません。</p> <p>知立市にとっても大きな負担となりますが、長期的な知立市の将来を考えた時、この連立事業は必要なものであると考えます。</p> |